

Anti- CCR5 (T312) RAT IgG MoAb

Code No. : RMCCR5S601

1mg

はじめに : CCR5 は 7 回膜貫通型 G タンパク質共役型レセプターに属するケモカインレセプターです。CCR5 は, Th1 細胞, 単球, NK 細胞, 成熟樹状細胞などに発現し、リガンドである RANTES, MIP-1 α , MIP-1 β により遊走作用を誘導します。CCR5 はマクロファージ指向性 HIV (R5) ウイルスのコレセプターとして機能します。

免疫抗原 : W516 細胞-CCR5 発現ラット腎細胞 (W7KSV)

起源 : マウス×ラット ハイブリドーマ
(SP2/0 × × WKA ラット脾臓細胞)

クローン名 : T312

サブクラス : IgG₁

由来 : マウス腹水

精製方法 : プロテイン G 精製

包装形態 : 0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS に溶解

保存方法 : -20°C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 2~8°C 保存 2 年間安定

使用目的 : ウェスタン・ブロッティング 10 μ g/mL にて使用可能
免疫沈降法 10 μ g/test にて使用可能
フローサイトメトリー 1 μ g (1×10^5 Cells あたり) にて使用可能

参考文献 : Tanaka R, Yoshida A, Murakami T, Baba E, Lichtenfeld J, Omori T, Kimura T, Tsurutani N, Fujii N, Wang ZX, Peiper SC, Yamamoto N, Tanaka Y. Unique monoclonal antibody recognizing the third extracellular loop of CXCR4 induces lymphocyte agglutination and enhances human immunodeficiency virus type 1-mediated syncytium formation and productive infection.

リムコ株式会社

E-Mail: info@rimco.jp

URL : http://rimco.jp